

SuperH RISC engine ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ V. 9. 04 Release 02 リリースのお知らせ

SuperH RISC engine ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージを V. 9. 04 Release 01 から V. 9. 04 Release 02 にリビジョンアップしました。

1. リビジョンアップ内容

1.1 統合開発環境 High-performance Embedded Workshop のアップデート

同梱の High-performance Embedded Workshop を V. 4. 09. 00 から V. 4. 09. 01 に更新しました。
更新内容は、ルネサス エレクトロニクス株式会社のホームページをご覧ください。

https://www.renesas.com/ja-jp/search/keyword-search.html#genre=document&q=120616tn2_j

1.2 改修内容

以下の内容を改修しました。

(1) 下記の4件の問題を改修しました。

- 同一ループ内の異なる配列要素に、同一の添え字を使用した場合の注意事項 (SHC-0090)
- 命令並び替えの最適化を実施し、かつ組込関数を使用した場合の注意事項 (SHC-0091)
- 構造体または共用体型の関数内 static 変数を持つ関数がインライン展開された場合の注意事項 (SHC-0092)
- 標準ライブラリ関数 strcpy() を使用した場合の注意事項 (SHC-0093)

問題の詳細は、ルネサス エレクトロニクス株式会社のホームページをご覧ください。

https://www.renesas.com/ja-jp/search/keyword-search.html#genre=document&q=140201tn1_j

(2) C4098 インターナルエラーが発生する可能性がある問題を改修しました。

(3) 以下の標準ライブラリ関数の問題を改修しました。

(3-1) strtoul()、strtoull()、strtol() または strtoll() の第1引数に、整数を構成しない文字列として、最初の文字が L、l、U または u のいずれかである文字列を渡すと、その L、l、U または u が文字として認識されない問題

(3-2) -endian=little を使用し、fabs() または fabsf() 関数を呼び出している場合に、fabs() または fabsf() 関数の結果が正しくないことがある問題

(4) abs16=bss、abs20=bss または abs28=bss オプション使用時にリンクエラーが発生する可能性がある問題を改修しました。

(5) 以下の注意事項を改修しました。

- ビルドオプションを選択する場合の注意事項

注意事項の詳細は、ルネサス エレクトロニクス株式会社のホームページをご覧ください。

https://www.renesas.com/ja-jp/search/keyword-search.html#genre=document&q=111213tn1_j

(6) 以下の注意事項を改修しました。

- ビルドオプションを指定する場合の注意事項

注意事項の詳細は、ルネサス エレクトロニクス株式会社のホームページをご覧ください。

https://www.renesas.com/ja-jp/search/keyword-search.html#genre=document&q=120216tn6_j

1.3 最適化リンケージエディタの仕様変更

最適化リンケージエディタの`-optimize`、`-optimize=speed` および`-optimize=safe` オプションを使用した場合に、レジスタ退避および回復の最適化機能 (`optimize=register`) が有効にならない仕様に変更しました。

V.9.04 Release 02 でレジスタ退避および回復の最適化機能を有効にする場合は、

`-optimize=register` オプションを必ず使用してください。

High-performance Embedded Workshop で`-optimize=register` オプションを使用する場合は、SuperH RISC engine Standard Toolchain ダイアログボックスの「最適化リンカ」タブの「カテゴリ」リストから「その他」を選択し、「ユーザ指定オプション」テキストボックス内にオプションを直接入力してください。

2. アップデート方法

SuperH RISC engine ファミリー C/C++コンパイラパッケージ V.9 をお持ちのお客様は、無償でアップデートができます。

以下のいずれかの方法でアップデートしてください。

(1) オートアップデートユーティリティを使用する。

(2) 以下の URL からアップデートプログラムをダウンロードして実行する。

<http://www.hitachi-ul.co.jp/system/XSOFT/download.html#SHV9>

3. 販売開始時期

2014年3月5日より販売中。

